

第3回家庭教育学級 “メイクのちからで、笑顔スイッチON” ～笑う‘母’には福来る！？笑顔引き出すメイク術、教えます～

令和2年1月31日、多方面でご活躍され、またご自身も一児の母であるプロのメイクアップアーティスト、MakeUp-AKIIさんを講師にお招きし、第3回家庭教育学級を開催しました。当日は、沢山の保護者の皆さまが生き生きと真剣にメモをとりながら参加してくださり、途中の休憩時間もAKIIさんを囲み、熱心に質問する姿が見られました。講習はマッサージオイルの香りが漂うリラックスした中、塚戸ママお2人にモデルとなってもらい、全顔のベース作りからのフルメイクアップと、半顔のお直しのデモンストレーションをしていただきました。みずみずしい艶めいた素肌づくりをベースにマンネリ顔を華やかにするテクニックの数々をプロの技を見ながら、わかりやすく解説していただきました。



子どもたちが大好きなお母さんの輝く笑顔を引き出し、明るく前向きに生きる1つのきっかけとなるメイク術。講演会の内容の一部をご紹介します。

●忙しい朝、化粧水をつけるときになかなかコットンは使えない…。コットンがよい理由は？

・コットンの使用でよいことが2つ。1つ目は一度に水分をたっぷりを与えられること。2つ目は、空気中の汚れをふき取ってくれる効果があるので、肌への浸透が早くなること。使用後は1枚を引き延ばしてコットンパックなどもでき、さらに水スプレーを吹きかけると、化粧水の濃度は薄まるが、ヒタヒタの状態になるのでおすすめ。ラップで蓋をすると熱がこもり、より中に浸透しやすくなる。(化粧水は、表面だけではなかなか浸透しないので、何度か重ねた方がよい。その際、手を当てて吸い付くような感覚があれば、潤っているサインで保湿効果が高まっている。)

●年齢を重ねると出てくる‘くすみ’には

・パール感のある下地でくすみを飛ばす。内側から外側に向かって、うすーくすーくパールをかけるように塗る。それでも気になるときは色つきのものと併用。肌を均一にしてくれ、化粧崩れを防ぐ効果もあり透明感がアップする。ただし、全体に均一につけてしまうと、顔が大きく見えてしまうので、ダイヤモンドゾーンに高さを出すように塗ると、立体的になる。

●リキッドファンデーションを塗るときはブラシがおすすめ

・ブラシの細い毛先が、毛穴を埋めてくれ、うすい膜をはったようになる。手でもよいが、ブラシよりはどうしても厚塗りになってしまう。ブラシをもっていない場合などは、100均でも売っているスポンジでたたきこむようにすると(ブラシほどではないが)毛穴が埋まる。

●お父さんへのアドバイス 年相応の清潔感が出るようにできることは？

・ひげを綺麗に剃るのと、眉毛をカットすること。年を重ねると眉毛が長くなるので、カットして整えるだけでも清潔感がでる。ただ、初回は難しいと思うので、眉カットをしてくれる美容院などでやってもらい、やり方をきく。その後自分でやるのがおすすめ。(その際は、ママもアドバイスしてあげたり、カットしてあげましょう。)

～参加した方の感想～



- ・日常を忘れて、とても優しい時間になりました。ありがとうございました。
- ・下の子が小さいため、メイクに時間をかけていませんでしたが、少しでも変わることがわかり、今日から頑張ろうと思いました。
- ・自分に合ったメイクがよく分からずもう何年も同じ色味で同じメイクをしていました。これからは自分に合ったメイクを探しながら、メイクをすることをもっと楽しめそうです。
- ・年齢を重ねていく中でどうでもいいやと思うのではなく、華やかに艶のあるメイクを心がけていこうと思える講演でした。もう少し自分にお金・時間を投資したいと思います。